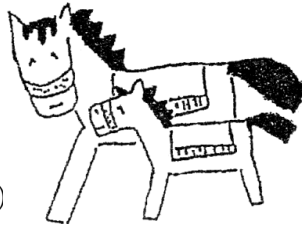


♪  
お馬のかあさん  
やさしいかあさん  
子馬をみながら  
ぽっくりぽっくり  
あるく

# おうまのおやこ

子育ても  
あせらず待ちましょ  
ポックリ、ポックリと

22年 10月 NO. 191



〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2  
高松保育園内地域子育て支援センター  
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857

<http://www4.ocn.ne.jp/~kouma/>

(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～

## 10月の主な活動

～お気軽にどうぞ～

10月 2日	土	実用書き講座 14:00～16:00	少し練習すると字のかがり ちがってきます。小学生もどうぞ。
10月 8日	金	おはなしの会 10:00～11:00	季節を感じるお話がいっぱいです。
10月 10日	日	運動会においで！ 9:00～13:00	64周年運動会は旧新塩屋町小学校で 9時より始めます。
10月 16日	土	体験保育 10:00～12:00	同じ年齢のクラスに入ってあそびましょう。
10月 16日	土	ヨガで身も心も軽く 14:30～16:00	肩こり、腰痛の軽減にどうぞ。
10月 22日	金	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	「夕映えの会」代表藤田浩子さんに会のことや 映画（レオニー）についてお聞きします。
10月 29日	金	健康・育児相談 11:00～12:00	小児科園医師に直接相談できます。 (予約要)
10月 30日	土	体験保育 10:00～12:00	出産予定の方も育児体験においで下さい。
10月 30日	土	ヨガで身も心も軽く 14:30～16:00	体をほぐして夏の疲れをとりましょう。

・毎火曜日 園庭開放(13時～16時)  
・上記の活動日以外は13時～18時まで地域開放しますので、親子でご来園下さい。  
(但し、月・日曜・祭日は休み)

### 育児相談 (月～土) 9:00～18:00

しつけや子育てについての悩み、  
保育園生活、入園・見学について  
の相談もどうぞ。

金子みすゞ  
童話全集5  
さみしい王女・上より

白い糸のついた蝉は電線にからまって、  
うすい翅をふるわせている。

白い大きな日曜の銀行に、  
陽はかっきりと影をつくり、

(秋は今朝、  
港に着いた。)

白いようにうすい朝の空を、  
すらすらと蜻蛉が飛ぶ。

白いかめしい日曜の銀行に、  
ころ、ころ、ころ、とこおろぎが鳴き、

はつ秋



市医師会看護専門学校の学生さん40名が7/29～8/27まで実習をしました。その記録から各クラス別にご紹介しましょう。



### ことり組で実習して（乳児クラス）

○保育者の笑顔を見て、一緒に笑うなど大人の表情を模倣したり、遊びを通して喜び興味をもち情緒的表現をする能力をもっており、他人の顔の表情や発声などに応じて適切に対応することができている。ことばが十分に発達していない乳幼児にとってコミュニケーションは大人以上に重要な役割を果していると思う。

○発熱、下痢、嘔吐等症状があればそれに応じておやつの内容も変更する。

離乳食を通して噛む行動を身につけることができる。偏食の場合はきれいな物をあまり無理強いせず代替食品や調理法を工夫する。

### つくし組で実習して（1才児クラス）

○食前におむつがえをし、排尿がない子どもはトイレの便座に座らせる。偶然に排尿がみられた時は「シー出たね」などやさしく声かけする。本格的なトイレトレーニングを行う前に乳幼児期から排泄に対する感受性を高めておくことが大切であり、保育士や家族が排泄の爽快感をことばで表現し汚れたオムツをすみやかに交換して清潔を保つことが必要であるとわかった。

○園内へ不審者が現われたと仮定し子どもを保護する人、不審者をサスマタ等で対応する等に分かれ訓練を行う事で非常事態がおこった時に円滑に行動することができる。

### はと組で実習して（1才児クラス）

○丸く切った画用紙に四角や丸く切った色紙をのりでつける。この手順を教える時に色紙の色や型を子どもに「何色かな？」と聞きながら教える。手順通りできる子、色のついている方にのりをつけたり、のりで手をベタベタにしてうちわを作らない子もいる。できていない子には、子どもの手を持ち、のりをつけ画用紙に貼る手伝いをする。（自分で色紙を選ぶことができる。しかし、けんかになることがあるので怪我がないように気をつける。）

○のびのび広場へ行った時、園内で出されている給食とはちがい保護者の愛情のこもったお弁当である。しかし冷凍食品も多く油が多く使用されているものも多くみられた。

### つばみ青組で実習して（2才児クラス）

○食事の時、お昼寝の時等、職員の言っていることにきちんと耳を傾け「はい」と返事をする事ができている。

誇りを大切に作る年齢であるため、名前を出して褒めることは自信の向上、「自分」という存在を認めてあげる良い機会となっている。また、皆の前で褒めることによって、その他の園児の褒めてもらいたいという気持ちに影響を与えることができるため、より良い成長へつなげることができる。

屋外で年上の園児と関わる際に「おにいちゃんすごいねえ」といった発言がみられ、身近かに憧れの対象がいることによって、自立への意欲が向上していくのではないかと考えられる。

### つばみ赤組で実習して（2才児クラス）

○排泄の援助では「自分でする」と手伝いを断わる子もいるが、できるのに甘えてしてもらう子もいるので子どもの自立度を見極めた上で手伝いをする事が大切だと思った。

○食事の時、園児が遊びながら食べていたら、今は食べる時間であることを教えて、ちゃんと食事ができている。昼食前には献立を発表して、育てたものを食べるということを通して、命をいただくということ、食べものを粗末にしないという大事なしつけへとつながっていると考える。

### さくら組で実習して（3歳児クラス）

○本堂でのお礼の時、保育士の話をしっかり聞いている子、となりの子とゴソゴソしている子、集中できず後や横をむいている子がいた。保育士による指導と配慮によりお参りを無事終了することができた。保育士の指導は決して中途半端でなく親が子どもに諭すように話したり、子どもと正面から向き合い教えるなどと真剣である。規律を守るため、親のかわりにもなる保育士の姿にすばらしさと大変さを感じました。家庭とはちがった社会生活を教わる大切な時間であるので、個々の子どものことをよく理解した上で指導する保育の難しさを知りました。保育士の仕事は園児の社会生活（集団生活）を教える重要な役割を果して大変難しく感じました。



### ほし組で実習して（4歳児クラス）

○遊びでは鬼ごっこ、かくれんぼなど協同的、組織的遊びが多く見受けられ、園児は共通の目的に従い、お互いの役割を分担して遊びを楽しんでいた。活発に体を動かす遊びを好み、自分たちで話し合っ規則をきめ遊びに工夫を加えることができていた。

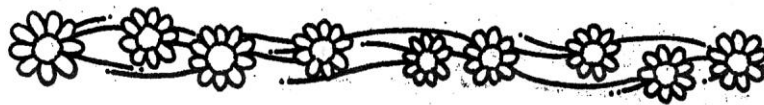
園庭での遊びの中でも保育士との約束やルールがあり、安全を考えるためにも高いところの鬼ごっこ禁止やすべりやすい長ぐつで高い場所にのぼらないなど、園児の安全を考えるものであるが、そういう約束を守らせることも社会性を養う上で必要な関わりであると考えます。

### すみれ組で実習して（5才児クラス）

○ごっこあそびは創造力を高める。ごっこあそびができなければ、今後小児が成長していく過程で頭の中でイメージすることが困難となり周囲とあそぶための協調性にも影響がでると考えられる。

すみれぐみの女児は集中力があり楽器を上手に使うことができ、うまく太鼓を叩くことができている。男児は集中している子もいれば、落ち着きが欠けている子もみられ、他の子より練習せず他の事をしている。

○あいうえお教室では全員が積極的に参加していた。ほぼ全員が自分の名前をひらがなで書けており、読み書きは特に問題がない。しかし何人かの園児が左右反対に書いたり、文字は理解できているが上手く書けていなかった。学力より勉強に対する意欲や集中力に重点を置き観察していく必要があるといえる。



### 保育園実習が看護現場で役立っていること

- ① ちょうど保育園実習を終えた後に小児科実習があったため、児の興味をもっている部分に深く関わる事が出来たことで、コミュニケーションが抜群に良くとれ、治療に対しても嫌がらずに協力してもらうことができた。
- ② 小児科病棟で手作り箱のおもちゃを作った。
- ③ 子どもが泣いてもうるさく思わなくなった。
- ④ 病児だけでなく家族との信頼関係が大切になってくるので、この2日間で学んだ家族の方への配慮や声かけ等、生かしていると思います。

